令和６年度庁議報告事項	
第２２回庁議（２０２５年2月１８日）	総務部　総務課

【件名】２０２４中野区区民意識・実態調査の結果について

【要旨】

２０２４中野区区民意識・実態調査の結果について報告する。

1　実施目的

区民の生活に関する実態や意識をさまざまな観点からとらえ、区の取組の成果を検証し、広く行政運営の基礎資料とする。また、調査結果をオープンデータ化し区民等の利用に供する。

2　調査の概要

（１）調査期間　　令和６年（２０２４年）９月２４日～１０月１８日

（２）調査対象者　　１８歳以上の中野区民　２,０００人

（３）調査方法　　郵送配布、郵送回収・インターネット回収併用

（４）有効回収数（率）　９０７人（回収率４５．４％、前回４３．６％）

うち、インターネット回収４７０人

（全体に占める割合５１．８％、前回４４．７％）

3　調査項目

項目名		設問数
（基礎項目）	① 定住意向	6
	② 生活環境	1
	③ 施策への評価・要望	2
	④ 中野区への愛着度、中野区の魅力	2
	⑤ 区政情報の入手	1
	⑥ 区政参加	2
	⑦ 文化芸術活動	5
	⑧ スポーツ支援活動への参加	1
	⑨ 多文化共生	4
	⑩ 社会や地域との関わり	4
	⑪ 生涯学習	1
	⑫ 区立施設の貸出利用	7
	⑬ 自転車	9
	⑭ 中野駅周辺	5

	⑮ 中野駅周辺以外の鉄道駅（駅周辺）	5
	⑯ 商店街	1
	⑰ 公園・広場等の利用	3
	⑱ 電子通信（デジタル）端末の利用状況	4
	⑲ 地震災害への対策	4
	⑳ 環境に関する理解・関心	5
	㉑ 人権・男女共同参画	4
	㉒ ユニバーサルデザイン	3
	㉓ パートナーシップ宣誓	1
	㉔ 子どもの権利	2
	㉕ 次世代に渡る定住意向	1
	㉖ 基本構想の認知度	1
	㉗ 中野区のまちの姿	1
	㉘ ＳＤＧｓの認知度	1
（回答者属性項目）		8
合　　計		９４

４　調査結果

「２０２４中野区区民意識・実態調査　概要版」 別添のとおり

５　調査結果の概要　※（　）内は前回数値

（１）定住意向〈上記３－①〉

「定住意向」が 81.1%（84.9%）、「転出意向」が 12.1%（9.7%）

（２）生活環境の満足度〈上記３－②〉

「交通の便」について、よいと評価した人が 92.2%（93.1%）

「住みやすさ全般」について、よいと評価した人が 92.1%（90.3%）

（３）施策への評価・要望〈上記３－③〉

区が力を入れていると評価できる施策は、「駅前などの重点的まちづくり」が 34.4%（33.6%）、「文化・スポーツ」が 18.4%（11.6%）、「みどり・公園」が 17.4%（18.7%）

今後力を入れてほしい施策は、「防災」が 28.3%（18.9%）、「子育て支援」が 22.4%（24.0%）、「防犯」が 22.2%（17.1%）

６　調査結果の公表

区報（令和７年４月２０日号）に掲載するほか、区ホームページに報告書全文及び概要版を掲載する。また、概要版は区立図書館で閲覧に供する。

2024 中野区区民意識・実態調査
≪概要版≫

調査の概要

【調査の項目】

1　定住意向について
2　生活環境について
3　中野区への愛着度、中野区の魅力について
4　区政情報の入手について
5　区政参加について
6　文化芸術活動について
7　スポーツ支援活動への参加について
8　多文化共生について
9　社会や地域との関わりについて
10　生涯学習について
11　区立施設の貸出利用について
12　自転車について
13　中野駅周辺について
14　中野駅周辺以外の鉄道駅（駅周辺）について
15　商店街について
16　公園・広場等の利用について
17　電子通信（デジタル）端末の利用状況について
18　地震災害への対策について
19　環境に関する理解・関心について
20　人権・男女共同参画について
21　ユニバーサルデザインについて
22　パートナーシップ宣誓について
23　子どもの権利について
24　次世代に渡る定住意向について
25　基本構想について
26　中野区のまちの姿について
27　ＳＤＧｓについて
28　施策への評価・要望について

【調査対象】　18 歳以上の中野区民
【標本数】　2,000 人
【有効回収数】907 人（45.4%）
【抽出方法】　無作為抽出法
【調査方法】　郵送配布、郵送回収・インターネット回収併用
【調査期間】　令和６年９月 24 日（火）　～　令和６年 10 月 18 日（金）

結果の見方

（１）（複数回答）、（３つまで回答）等と記述されたもの以外は、選択肢を１つだけ選ぶ設問である。
（２）集計は、小数点第２位を四捨五入して算出した。したがって、百分比の合計が 100%に満たない、または上回る場合がある。
（３）回答の比率（%）は、その設問の対象の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問はすべて比率を合計すると 100%を超えることがある。
（４）グラフに表記されている「ｎ＝＊」（＊は数字）は、対象の回答者数を表している。
（５）グラフに表記されている（　）内の数字は 2023 年調査の対象の回答者数及び回答の比率を表している。

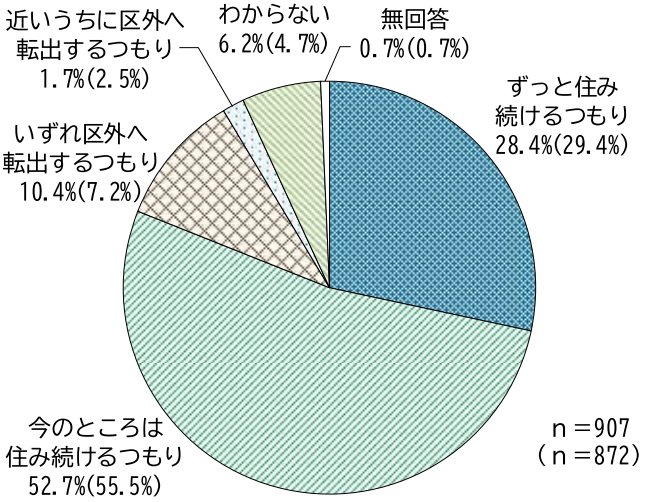
2025 年（令和７年）２月

中　野　区

1　定住意向について

（1）区内定住意向

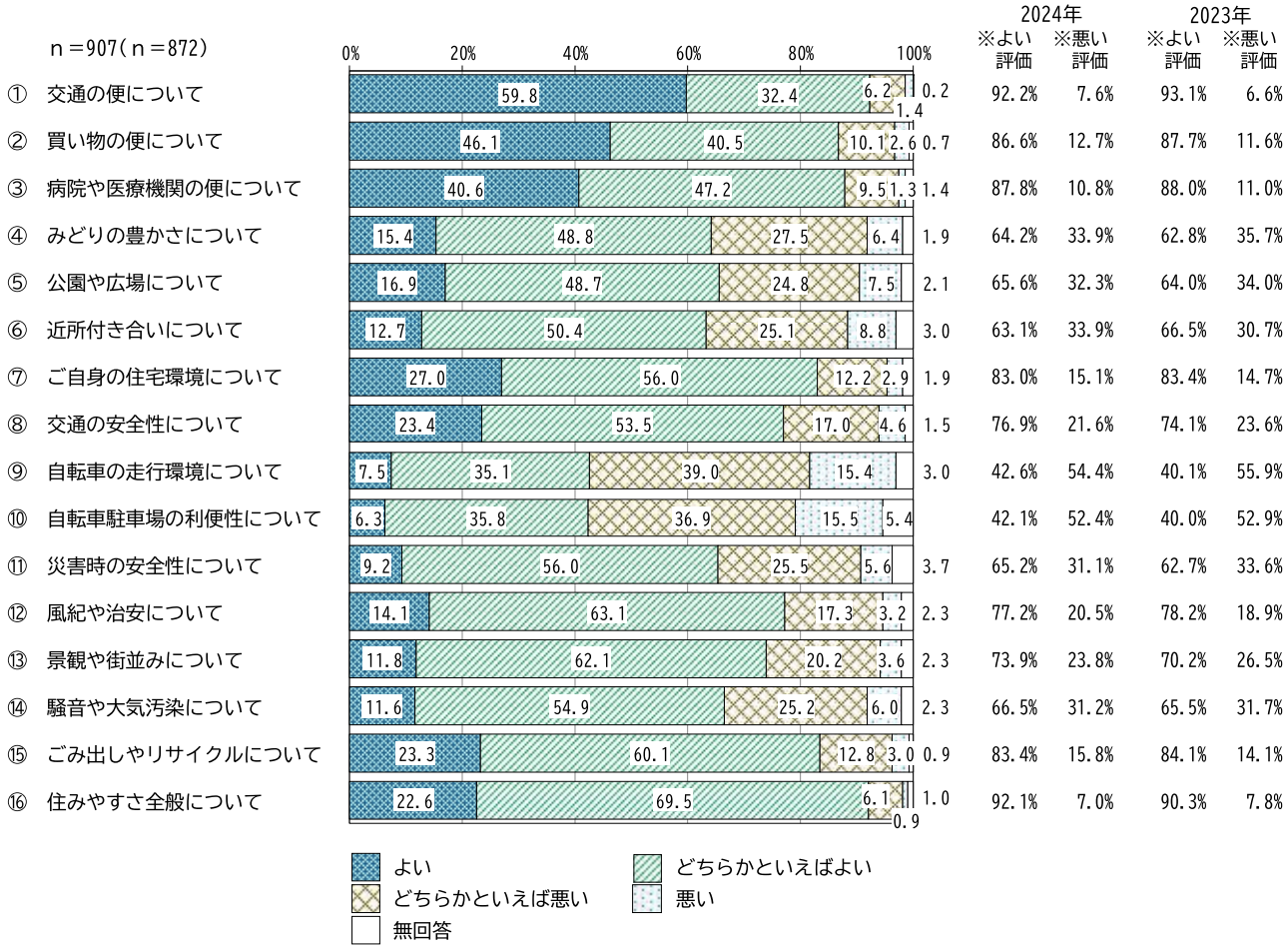
定住意向を聞いたところ、「ずっと住み続けるつもり」(28.4%) と「今のところは住み続けるつもり」(52.7%) を合わせた≪定住意向あり≫（81.1%）は８割を超えている。一方、「いずれ区外へ転出するつもり」(10.4%) と「近いうちに区外へ転出するつもり」(1.7%) を合わせた≪転出意向あり≫（12.1%）は１割を超えている。



2　生活環境について

（1）生活環境の評価

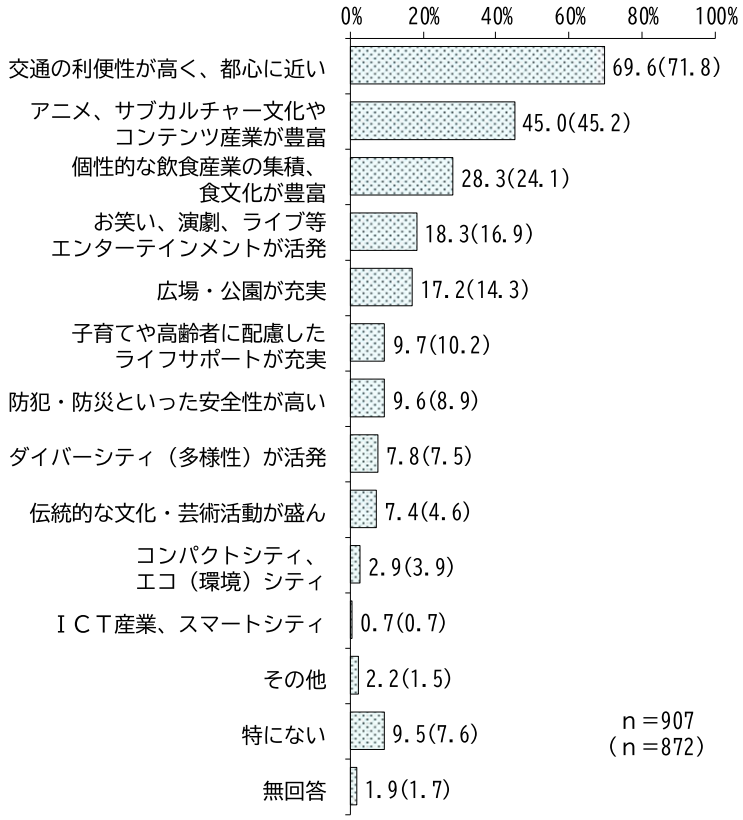
自宅周辺の生活環境についてどのように感じるか 16 項目にわたり聞いたところ、「よい」と「どちらかといえばよい」を合わせた≪よい評価≫は「①交通の便について」(92.2%) が最も高く、次いで「⑯住みやすさ全般について」(92.1%) となっている。一方、「どちらかといえば悪い」と「悪い」を合わせた≪悪い評価≫は「⑨自転車の走行環境について」(54.4%) が最も高く、次いで「⑩自転車駐車場の利便性について」(52.4%) となっている。



3　中野区への愛着度、中野区の魅力について

（１）中野区の魅力（ブランドイメージ）

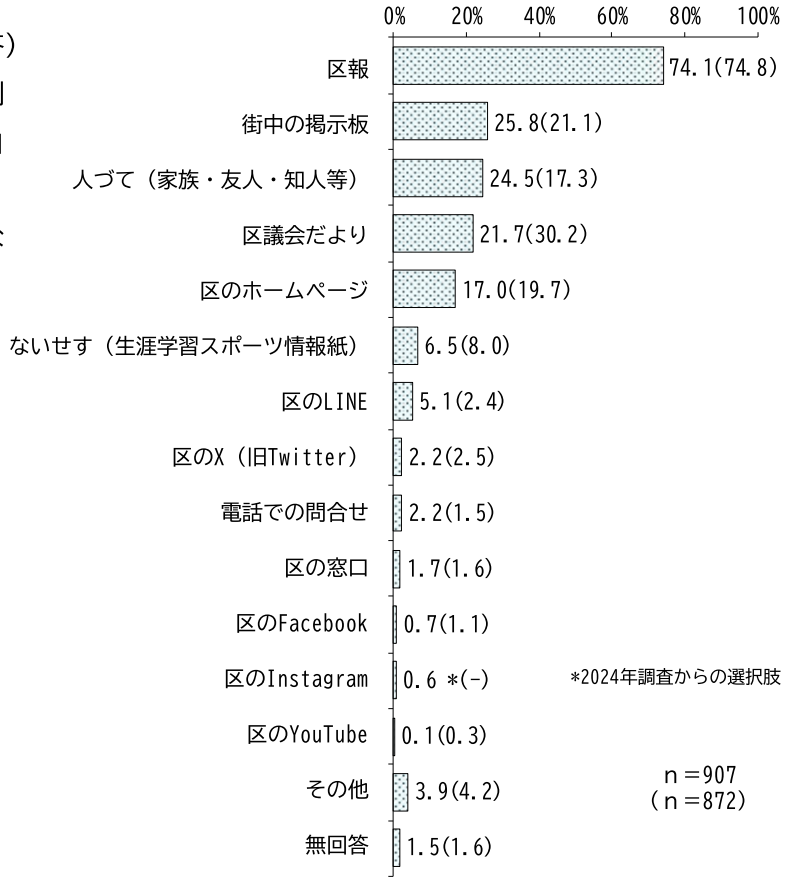
中野区の街の魅力（ブランドイメージ）（複数回答）を聞いたところ、「交通の利便性が高く、都心に近い」（69.6%）が約７割で最も高く、次いで「アニメ、サブカルチャー文化やコンテンツ産業が豊富」（45.0%）、「個性的な飲食産業の集積、食文化が豊富」（28.3%）、「お笑い、演劇、ライブ等エンターテインメントが活発」（18.3%）となっている。



4　区政情報の入手について

（１）区政情報の入手方法

中野区の区政情報の入手方法（複数回答）を聞いたところ、「区報」（74.1%）が７割半ばで最も高く、次いで「街中の掲示板」（25.8%）、「人づて（家族・友人・知人等）」（24.5%）、「区議会だより」（21.7%）となっている。

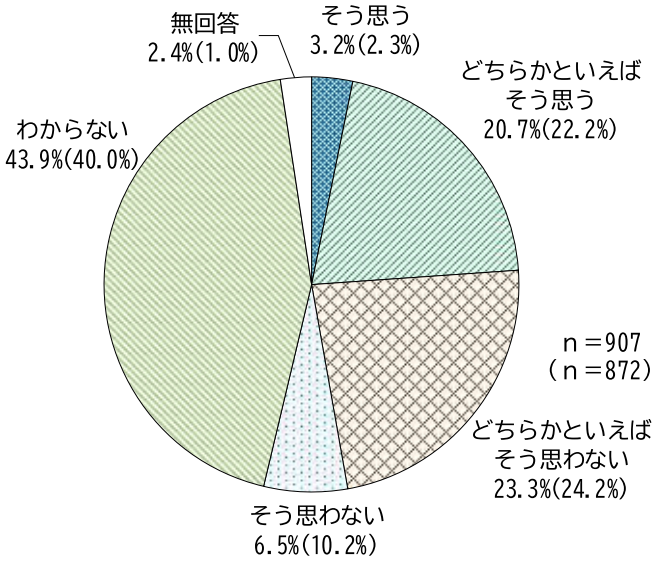


5　区政参加について

（１）区民の意見の反映度

区民の意見の反映度を聞いたところ、「そう思う」（3.2%）と「どちらかといえばそう思う」（20.7%）を合わせた≪反映されていると思う≫（23.9%）は２割前半となっている。

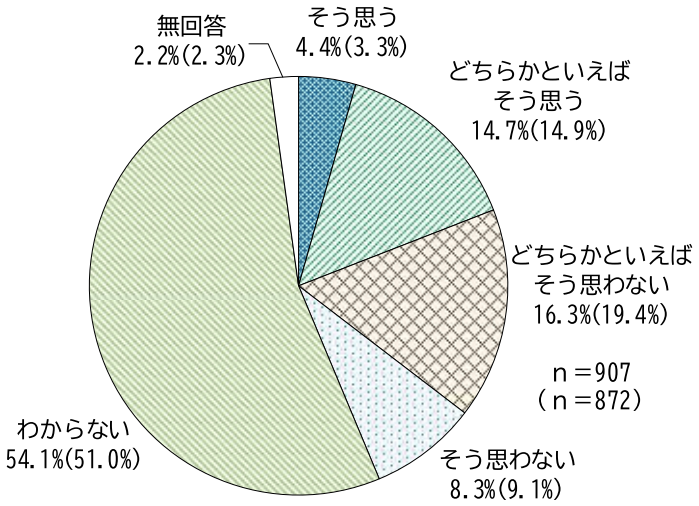
一方、「どちらかといえばそう思わない」（23.3%）と「そう思わない」（6.5%）を合わせた≪反映されていると思わない≫（29.8%）は約３割となっている。



6　文化芸術活動について

（１）子どもの文化・芸術の鑑賞、体験機会

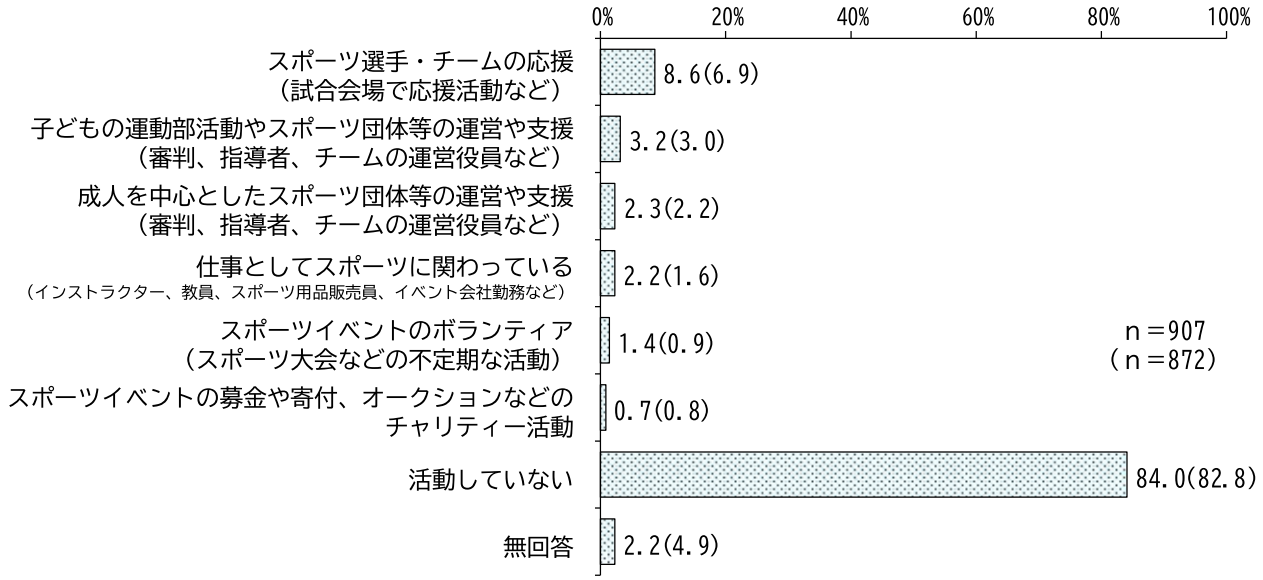
子どもの文化・芸術の鑑賞、体験機会は十分にあると思うか聞いたところ、「そう思う」（4.4%）と「どちらかといえばそう思う」（14.7%）を合わせた≪十分にあると思う≫（19.1%）は約２割、「どちらかといえばそう思わない」（16.3%）と「そう思わない」（8.3%）を合わせた≪十分にあると思わない≫（24.6%）は２割半ばとなっている。



7　スポーツ支援活動への参加について

（１）最近１年間に関わったスポーツを支える活動

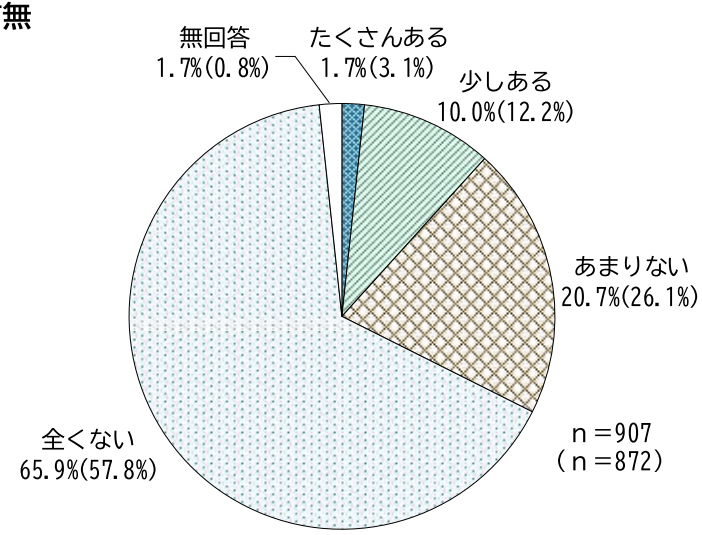
最近１年間で関わったスポーツを支える活動（複数回答）を聞いたところ、「スポーツ選手・チームの応援（試合会場で応援活動など）」が 8.6％で最も高くなっている。一方、「活動していない」（84.0％）は８割半ばと高くなっている。



8　多文化共生について

（１）地域に暮らす外国人と交流する機会の有無

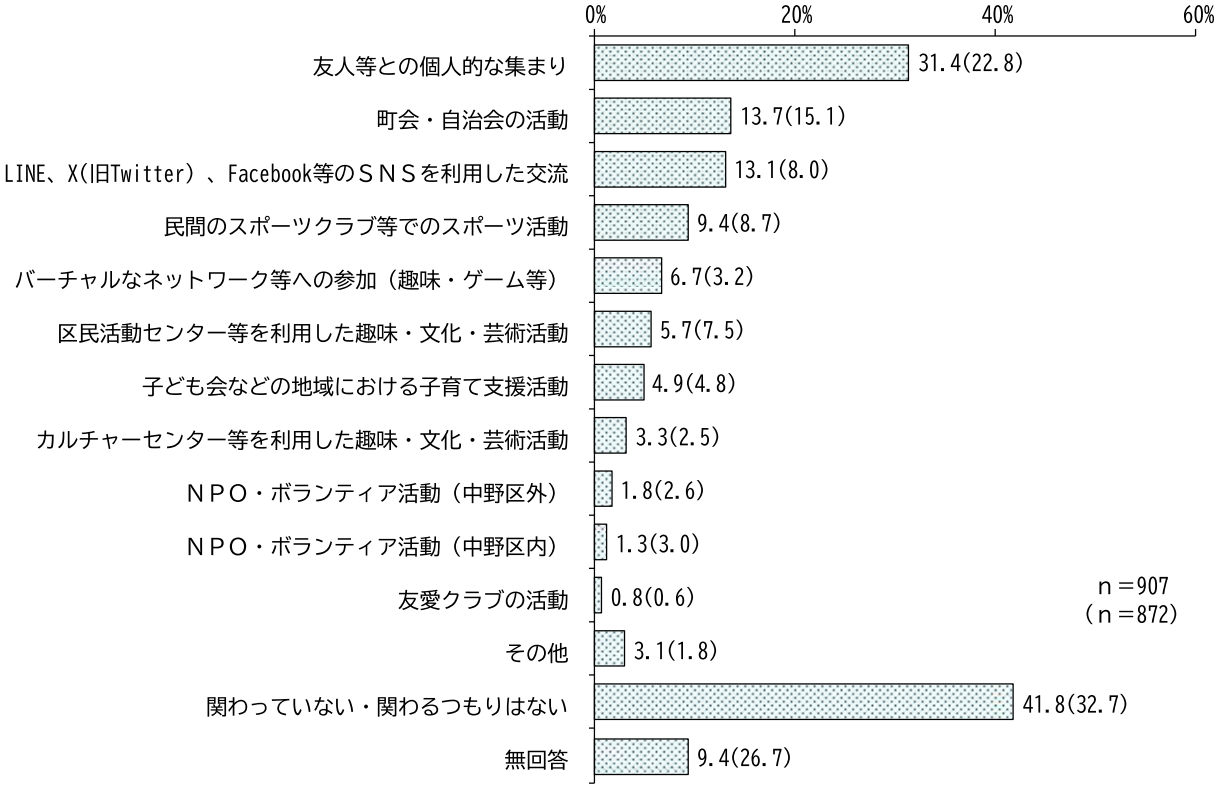
地域に暮らす外国人と交流する機会の有無を聞いたところ、「たくさんある」（1.7％）と「少しある」（10.0％）を合わせた≪機会がある≫（11.7％）は約１割、「あまりない」（20.7％）と「全くない」（65.9％）を合わせた≪機会がない≫（86.6％）は８割半ばとなっている。



9　社会や地域との関わりについて

（１）最近１年間に参加した地域活動

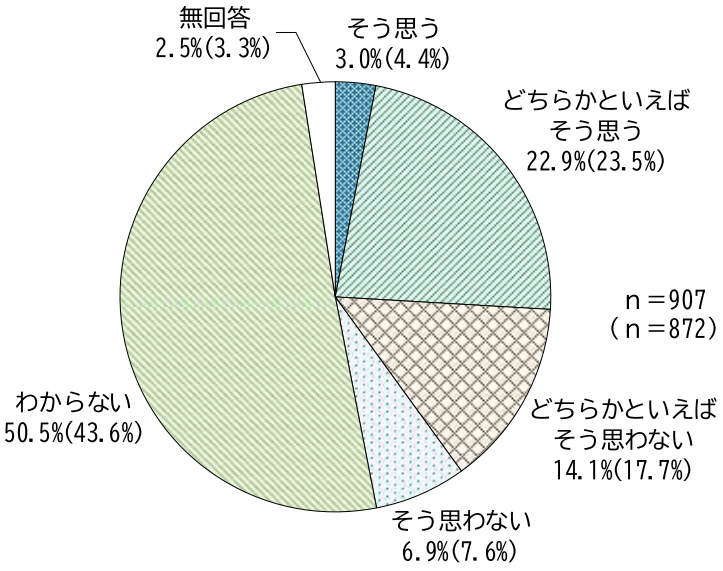
最近１年間に参加した活動（複数回答）を聞いたところ、「友人等との個人的な集まり」（31.4%）が約３割で最も高く、次いで「町会・自治会の活動」（13.7%）、「LINE、X(旧 Twitter)、Facebook 等のＳＮＳを利用した交流)」（13.1%）となっている。



10　生涯学習について

（１）生涯学習の機会の充実度

生涯学習の機会が充実していると思うか聞いたところ、「そう思う」（3.0%）と「どちらかといえばそう思う」（22.9%）を合わせた≪そう思う≫（25.9%）は２割半ば、「どちらかといえばそう思わない」（14.1%）と「そう思わない」（6.9%）を合わせた≪そう思わない≫（21.0%）は約２割となっている。



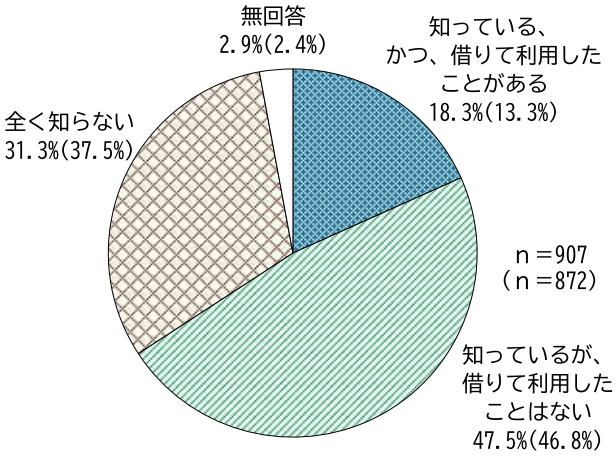
11　区立施設の貸出利用について

（１）区立施設の貸出利用

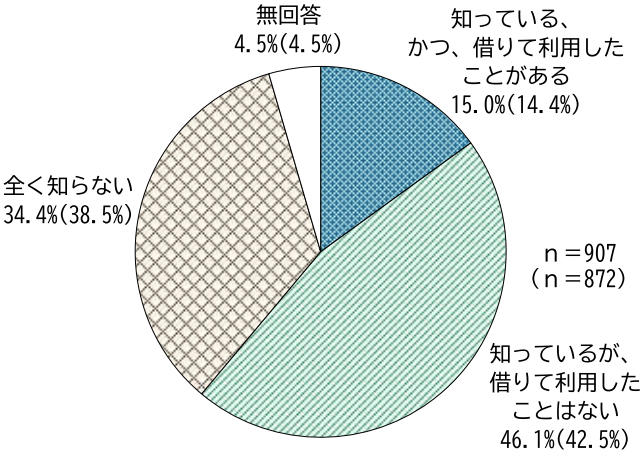
区立施設の貸出利用について聞いたところ、〔①文化・スポーツ施設等（施設予約システム導入施設）〕では、「知っているが、借りて利用したことはない」（47.5%）が４割後半で最も高く、次いで「全く知らない」（31.3%）、「知っている、かつ、借りて利用したことがある」（18.3%）となっている。

〔②区民活動センター集会室等（施設予約システム未導入施設）〕では、「知っているが、借りて利用したことはない」（46.1%）が４割半ばで最も高く、次いで「全く知らない」（34.4%）、「知っている、かつ、借りて利用したことがある」（15.0%）となっている。

〔①文化・スポーツ施設等
（施設予約システム導入施設）〕



〔②区民活動センター集会室等
（施設予約システム未導入施設）〕

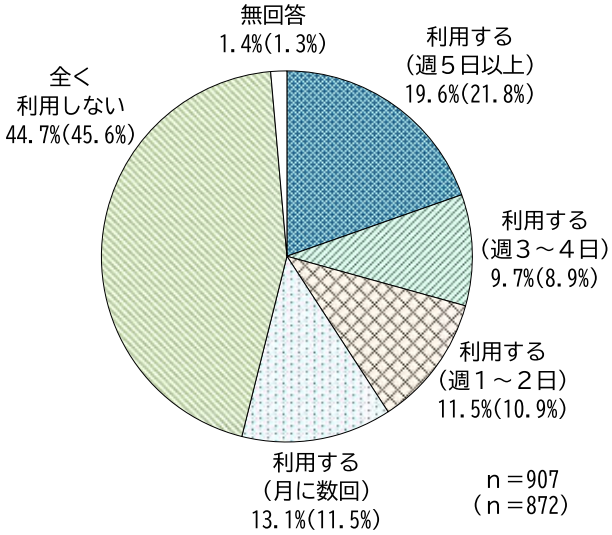


12　自転車について

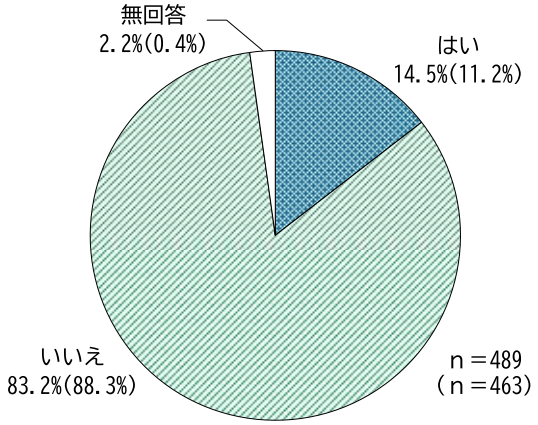
（１）自転車の利用頻度

自転車の利用頻度を聞いたところ、「全く利用しない」（44.7%）が４割半ばと最も高く、次いで「利用する（週５日以上）」（19.6%）、「利用する（月に数回）」（13.1%）となっている。

「利用する（週５日以上）」（19.6%）、「利用する（週３～４日）」（9.7%）、「利用する（週１～２日）」（11.5%）を合わせた≪週１日以上≫（40.8%）は約４割となっている。



（２）ヘルメットの着用状況（自転車利用者のみ）



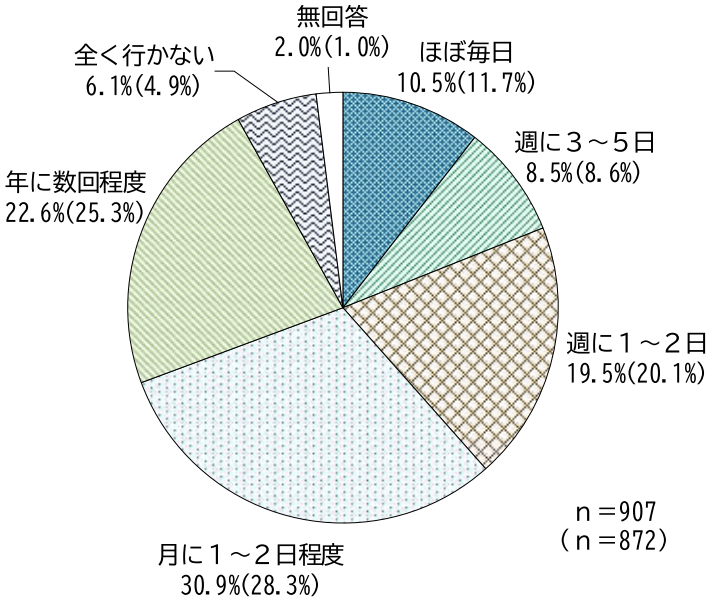
自転車を『利用する』（「利用する（週５日以上）」～「利用する（月に数回）」と回答した方のヘルメットの着用状況は、「いいえ」（83.2%）が８割前半、「はい」（14.5%）が１割半ばとなっている。

13　中野駅周辺について

（１）中野駅周辺に行く頻度

中野駅周辺に行く頻度を聞いたところ、「月に１～２日程度」(30.9%) が約３割で最も高く、次いで「年に数回程度」(22.6%)、「週に１～２日」(19.5%) となっている。

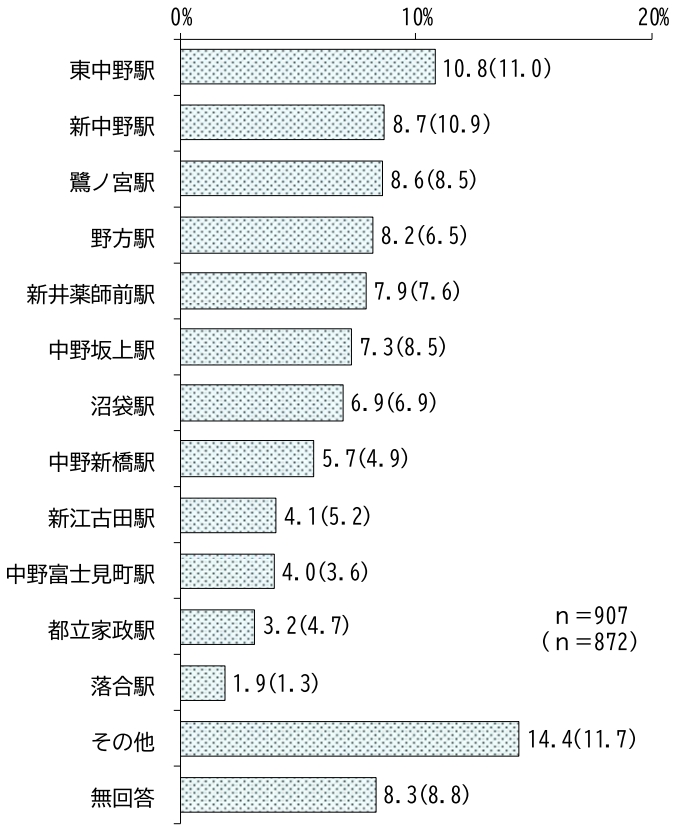
「ほぼ毎日」(10.5%)、「週に３～５日」(8.5%)、「週に１～２日」(19.5%) を合わせた≪週１日以上≫ (38.5%) は３割後半となっている。



14　中野駅周辺以外の鉄道駅（駅周辺）について

（１）最も利用する鉄道駅（駅周辺）

中野駅以外の日常で最も利用する鉄道駅（駅周辺）を聞いたところ、「東中野駅」(10.8%) が約１割で最も高く、次いで「新中野駅」(8.7%)、「鷺ノ宮駅」(8.6%) となっている。

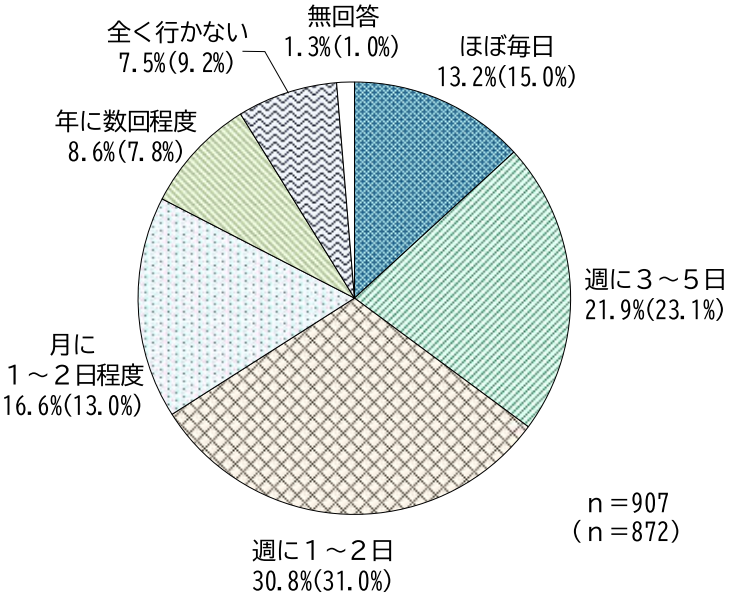


15　商店街について

（１）商店街に行く頻度

商店街に行く頻度を聞いたところ、「週に１～２日」(30.8%) が約３割で最も高く、次いで「週に３～５日」(21.9%)、「月に１～２日程度」(16.6%) となっている。

「ほぼ毎日」(13.2%)、「週に３～５日」(21.9%)、「週に１～２日」(30.8%) を合わせた≪週１日以上≫ (65.9%) は６割半ばとなっている。

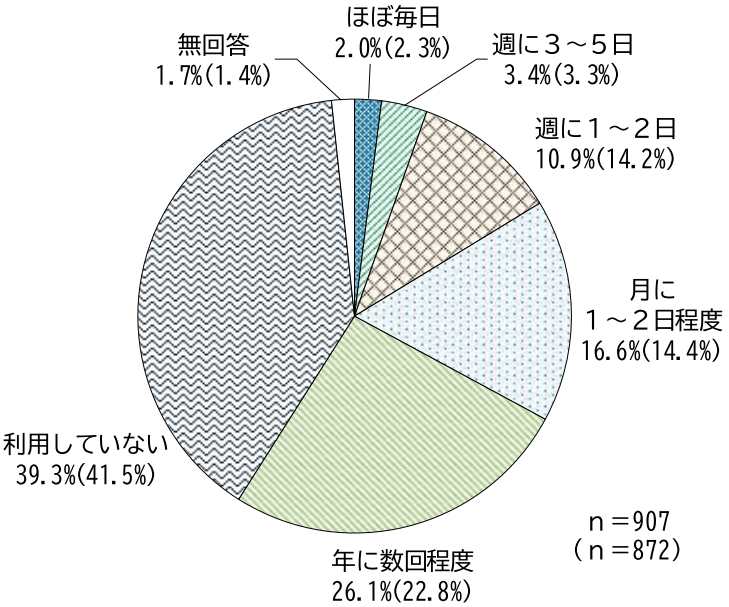


16　公園・広場等の利用について

（１）区内の公園・広場の利用頻度

公園や広場の利用頻度を聞いたところ、「利用していない」(39.3%) が約４割と最も高く、次いで「年に数回程度」(26.1%)、「月に１～２日程度」(16.6%) となっている。

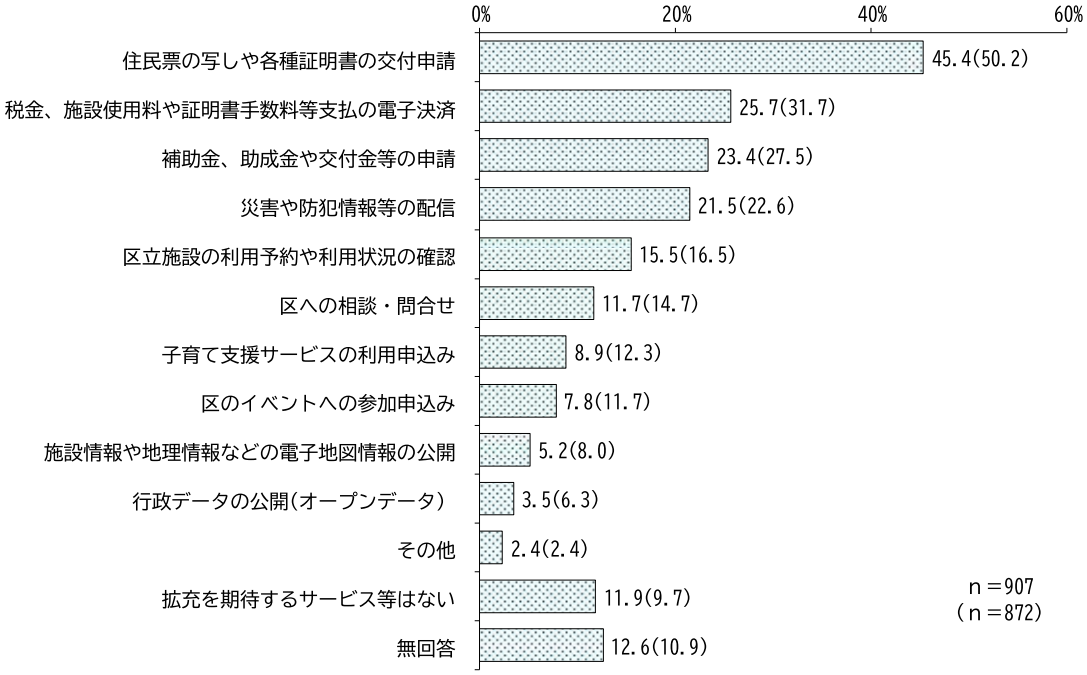
「ほぼ毎日」(2.0%)、「週に３～５日」(3.4%)、「週に１～２日」(10.9%) を合わせた≪週１日以上利用あり≫ (16.3%) は１割半ばとなっている。



17　電子通信（デジタル）端末の利用状況について

（１）電子化の拡充を期待する区のサービス等

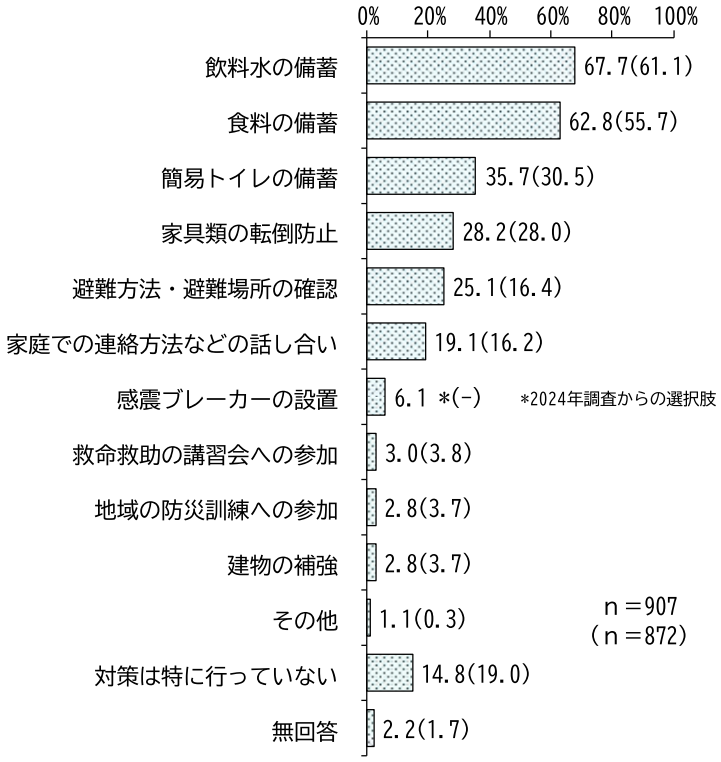
電子化の拡充を期待する区のサービス等（複数回答）を聞いたところ、「住民票の写しや各種証明書の交付申請」（45.4%）が４割半ばで最も高く、次いで「税金、施設使用料や証明書手数料等支払の電子決済」（25.7%）、「補助金、助成金や交付金等の申請」（23.4%）、「災害や防犯情報等の配信」（21.5%）となっている。



18　地震災害への対策について

（１）家庭での備え

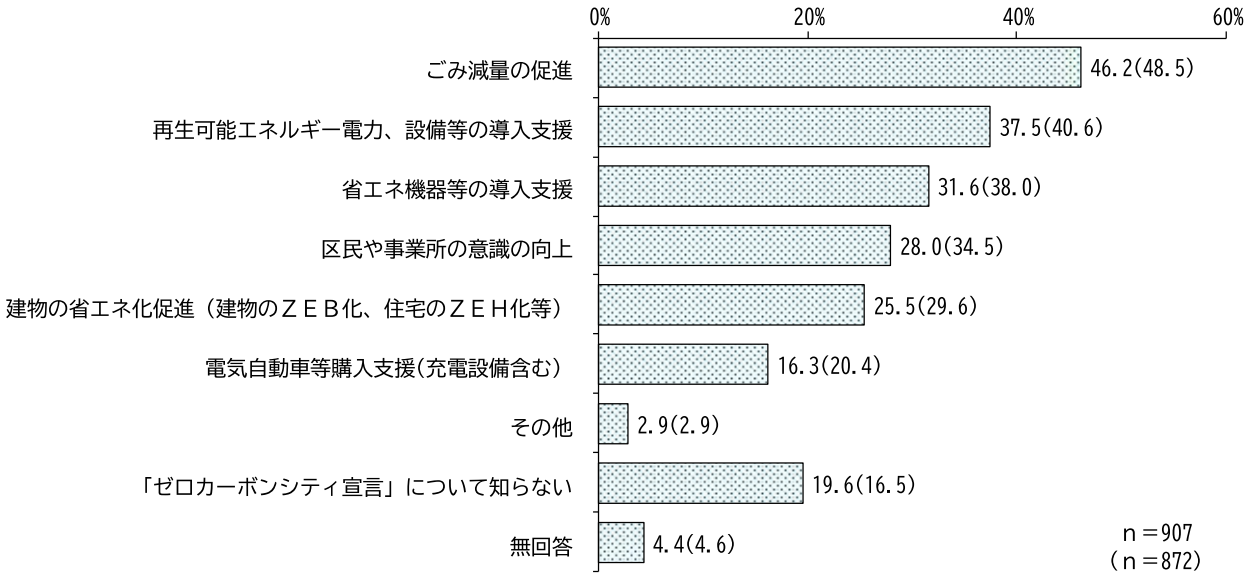
地震災害に備えて家庭内で行っている対策（複数回答）を聞いたところ、「飲料水の備蓄」（67.7%）が６割後半で最も高く、次いで「食料の備蓄」（62.8%）、「簡易トイレの備蓄」（35.7%）、「家具類の転倒防止」（28.2%）となっている。



19　環境に関する理解・関心について

（１）ゼロカーボンに必要な対策

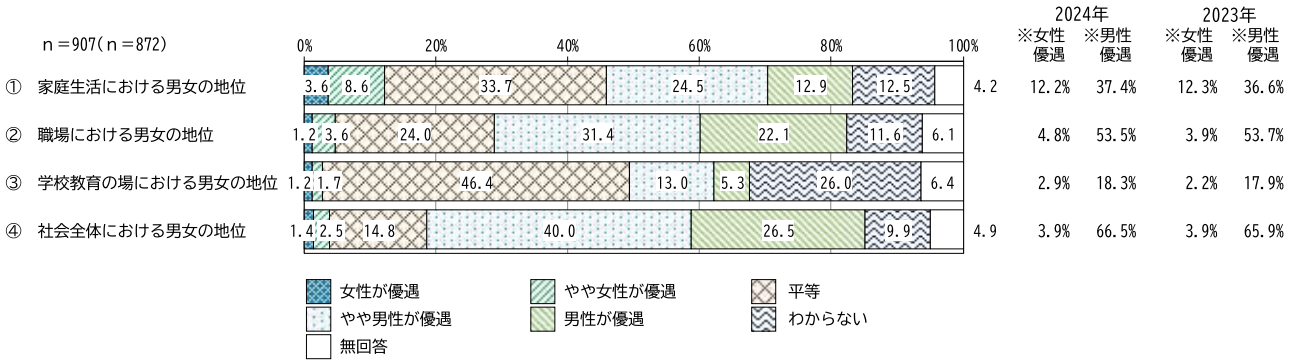
ゼロカーボンのために必要な対策（複数回答）を聞いたところ、「ごみ減量の促進」（46.2%）が４割半ばと最も高く、次いで「再生可能エネルギー電力、設備等の導入支援」（37.5%）、「省エネ機器等の導入支援」（31.6%）となっている。「『ゼロカーボンシティ宣言』について知らない」（19.6%）は約２割となっている。



20　人権・男女共同参画について

（１）男女の地位の平等感

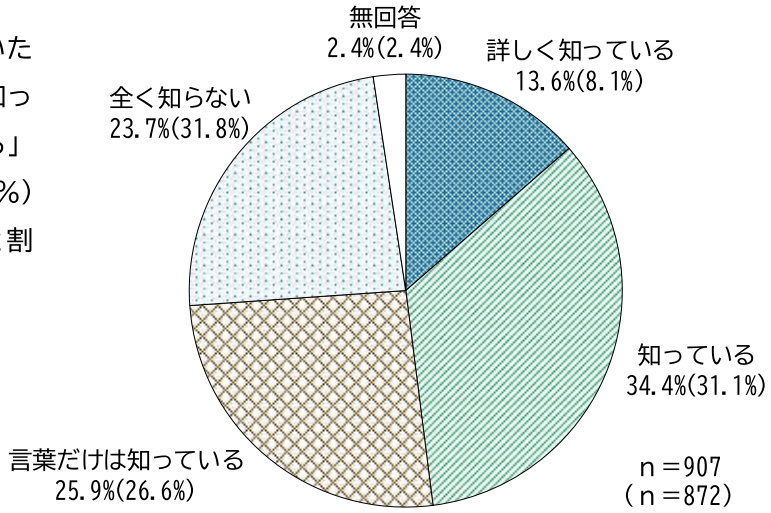
４つの分野において、男女の地位は平等だと思うか聞いたところ、「平等」が最も高かったのは『③学校教育の場における男女の地位』（46.4%）であり、次いで『①家庭生活における男女の地位』（33.7%）、『②職場における男女の地位』（24.0%）、『④社会全体における男女の地位』（14.8%）となっている。



21　ユニバーサルデザインについて

（１）「ユニバーサルデザイン」の認知度

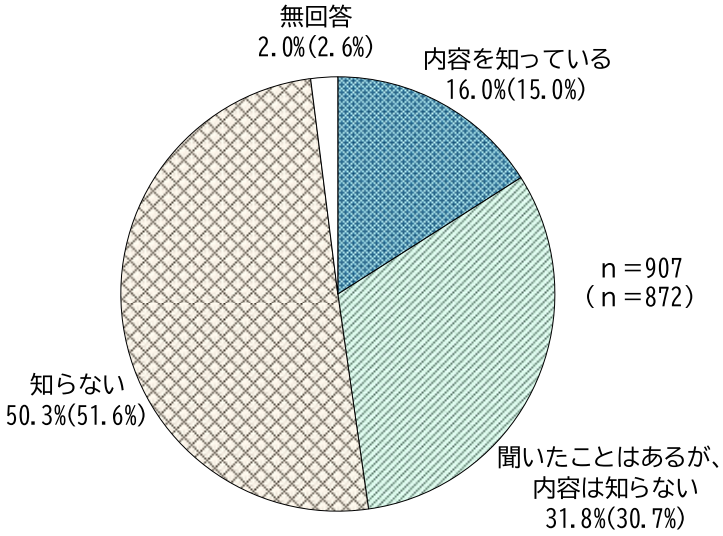
「ユニバーサルデザイン」の認知度を聞いたところ、「詳しく知っている」（13.6%）、「知っている」（34.4%）、「言葉だけは知っている」（25.9%）を合わせた≪知っている≫（73.9%）が７割前半、「全く知らない」（23.7%）が２割前半となっている。



22　パートナーシップ宣誓について

（１）パートナーシップ宣誓の認知度

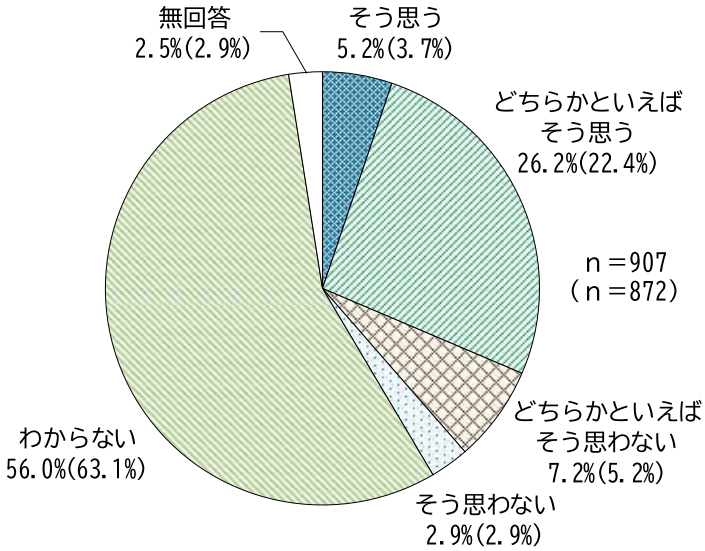
中野区パートナーシップ宣誓の認知度を聞いたところ、「知らない」（50.3%）が約５割と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」（31.8%）、「内容を知っている」（16.0%）となっている。



23　子どもの権利について

（１）子どもの権利

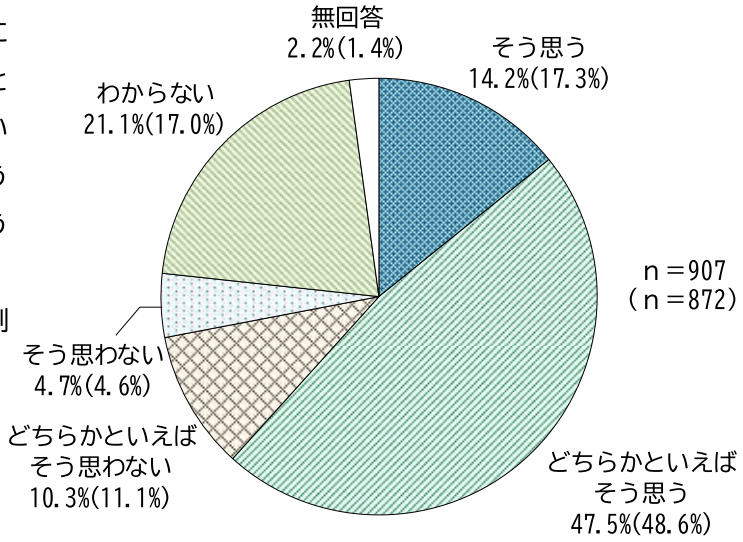
子どもの権利が守られていると思うか聞いたところ、「そう思う」（5.2%）と「どちらかといえばそう思う」（26.2%）を合わせた≪そう思う≫（31.4%）は約３割となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」（7.2%）と「そう思わない」（2.9%）を合わせた≪そう思わない≫（10.1%）は約１割となっている。



24　次世代に渡る定住意向について

（１）次世代に渡る定住意向

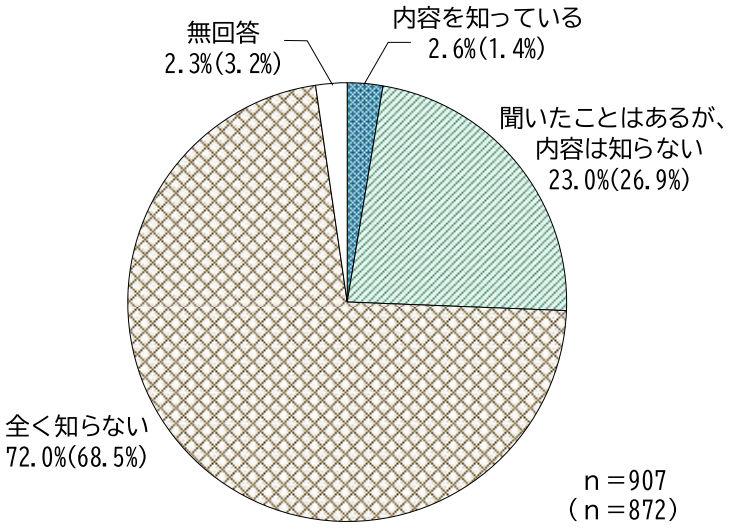
中野区のまちは次世代を担う子どもたちに住んでもらいたいまちだと思うかを聞いたところ、「そう思う」（14.2%）と「どちらかといえばそう思う」(47.5%) を合わせた≪そう思う≫（61.7%）が約６割、「どちらかといえばそう思わない」(10.3%) と「そう思わない」(4.7%) を合わせた≪そう思わない≫（15.0%）が１割半ばとなっている。



25　基本構想について

（１）中野区基本構想の認知度

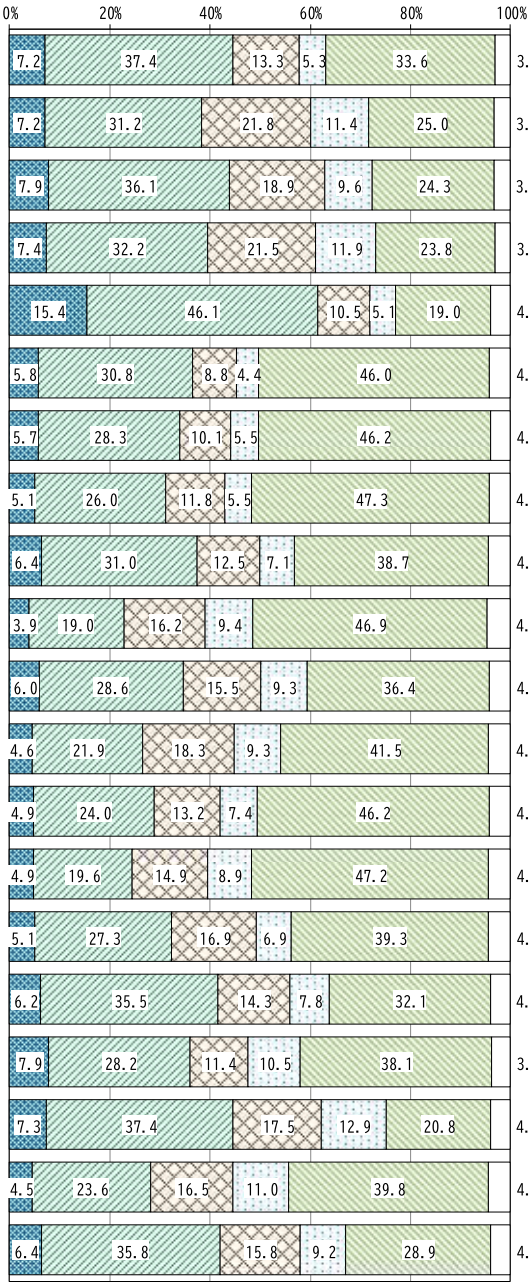
中野区基本構想の認知度を聞いたところ、「全く知らない」(72.0%) が７割前半で最も高く、「聞いたことはあるが、内容は知らない」（23.0%）が２割前半、「内容を知っている」が2.6%となっている。



26　中野区のまちの姿について

（１）中野区のまちの姿について

中野区のまちの姿について、「現在の中野区に対する、あなたの生活における実感」を聞いたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた≪そう思う≫は、『⑤中野駅周辺では多様な経済・文化活動が行われ、新たな活力とにぎわいが生まれている』（61.5%）で約６割と最も高く、次いで『⑱居心地が良く歩きたくなるまちなか、魅力ある公園、多様な移動環境が整備され、快適で魅力ある住環境の形成が進んでいる』（44.7%）となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた≪そう思わない≫は、『④区内産業の発展や新たな企業の参入、商店街の活発な活動などにより、地域経済が活性化している』（33.4%）で３割前半と最も高く、次いで『②気軽に地域で関わりを持てるようなつながりがあり、人々の地域への愛着が生まれている』（33.2%）となっている。



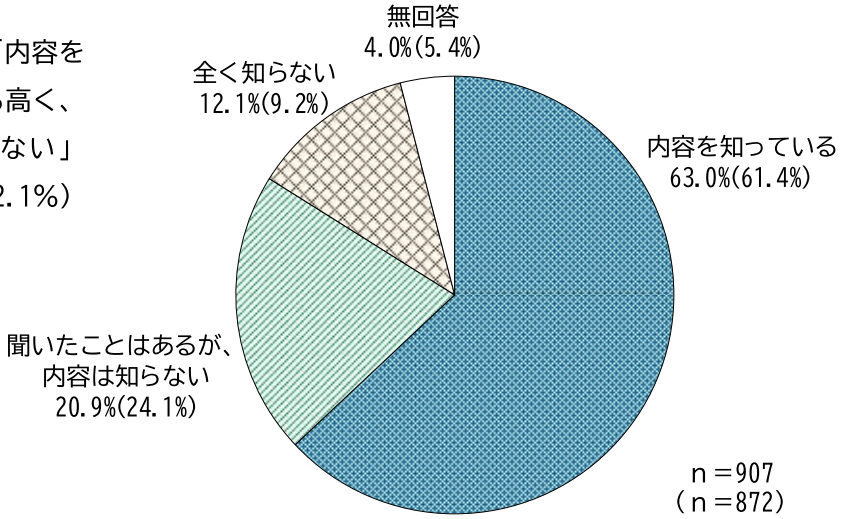
	n＝907（n＝872）		2024年 ※そう思う計	2024年 ※そう思わない計	2023年 ※そう思う計	2023年 ※そう思わない計
①	国籍や文化、年齢、障害、性別などが異なる多様な人々が暮らす中で、人権や価値観が尊重されている	3.2	44.6%	18.6%	45.2%	17.6%
②	気軽に地域で関わりを持てるようなつながりがあり、人々の地域への愛着が生まれている	3.4	38.4%	33.2%	39.3%	30.3%
③	文化・芸術活動が活発に行われ、誰もが身近に親しみ、表現できる環境が整い、にぎわいにあふれている	3.3	44.0%	28.5%	40.9%	30.2%
④	区内産業の発展や新たな企業の参入、商店街の活発な活動などにより、地域経済が活性化している	3.2	39.6%	33.4%	35.5%	33.1%
⑤	中野駅周辺では多様な経済・文化活動が行われ、新たな活力とにぎわいが生まれている	4.0	61.5%	15.6%	57.0%	17.1%
⑥	子どもたちは、一人の人間として尊重されており、虐待の防止や学びの支援など子どもの命と権利を守る体制が整っている	4.2	36.6%	13.2%	40.7%	14.2%
⑦	良好な教育環境が整うとともに、学校や幼稚園、保育園などが家庭や地域と連携し、協働しながら特色のある教育が行われている	4.1	34.0%	15.6%	36.9%	16.9%
⑧	子育てに関する様々な人や団体の活動が活発であり、多様なサービスの提供により安心して子どもを産み、育てられる体制が整っている	4.3	31.1%	17.3%	34.2%	18.4%
⑨	子どもと子育て家庭にとって快適な住まいや魅力的な空間・施設などが整備され、住み続けたいと思えるまちである	4.4	37.4%	19.6%	36.7%	19.4%
⑩	若者がチャレンジできる環境や、若者一人ひとりの課題の解決を支える体制が整っている	4.7	22.9%	25.6%	23.2%	25.0%
⑪	地域のつながりや見守り・支えあいが生まれ、介護・福祉サービスや医療を受けながら、高齢期も安心して過ごすことができる体制が整っている	4.3	34.6%	24.8%	34.5%	23.8%
⑫	いくつになっても生きがいを見つけられ、就労や社会参画などを通じて生涯現役で活躍できる環境が整っている	4.4	26.5%	27.6%	28.1%	25.6%
⑬	障害や生活困窮、生活上の様々な課題や困りごとを抱えても、相談や支援が受けられる体制が整っている	4.3	28.9%	20.6%	30.0%	22.1%
⑭	障害や認知症の有無などにかかわらず、個々の特性や強みを生かし、自分らしく暮らせる環境が整っている	4.5	24.5%	23.8%	23.8%	24.1%
⑮	健康的な生活習慣が身につけられる環境が整うとともに、誰もが運動や学びなどに楽しみながら取り組んでいる	4.5	32.4%	23.8%	33.2%	23.4%
⑯	防災まちづくりの推進や地域の防災力の向上などにより、災害に強いまちづくりが進んでいる	4.1	41.7%	22.1%	37.8%	23.1%
⑰	西武新宿線の連続立体交差事業を契機とした沿線各駅のまちづくりや地区の特性に応じたまちづくりにより、安全性・快適性・利便性が向上している	3.9	36.1%	21.9%	39.5%	22.1%
⑱	居心地が良く歩きたくなるまちなか、魅力ある公園、多様な移動環境が整備され、快適で魅力ある住環境の形成が進んでいる	4.1	44.7%	30.4%	41.9%	29.5%
⑲	環境負荷の少ないライフスタイルなどが、区民の生活や企業活動に浸透している	4.5	28.1%	27.5%	25.3%	27.0%
⑳	防犯、消費生活、感染症などに関する意識の高まりや行動の変化が生まれ、安全・安心な暮らしが守られている	4.0	42.2%	25.0%	39.3%	22.7%

そう思う　どちらかといえばそう思う　どちらかといえばそう思わない　そう思わない　わからない　無回答

27　ＳＤＧｓについて

（１）ＳＤＧｓの認知度

ＳＤＧｓの認知度を聞いたところ、「内容を知っている」(63.0%) が６割前半で最も高く、「聞いたことはあるが、内容は知らない」(20.9%) が約２割、「全く知らない」(12.1%) が１割前半となっている。



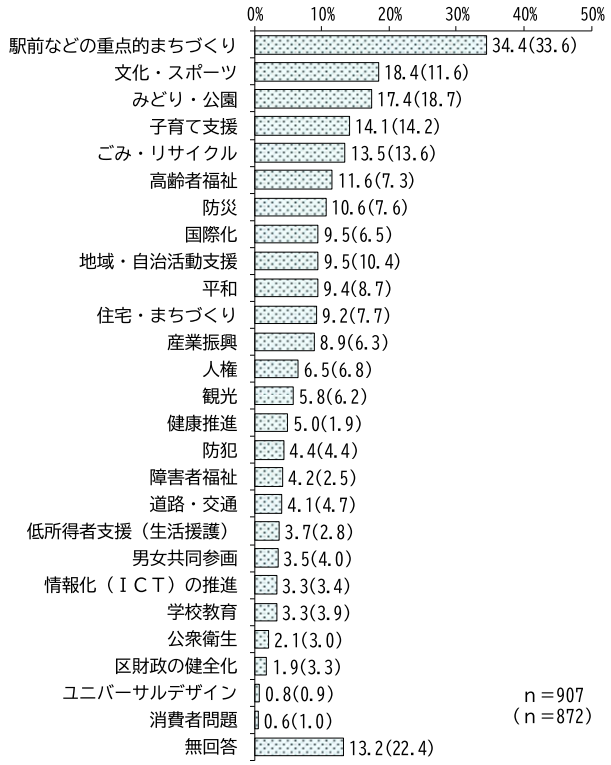
28　施策への評価・要望について

（１）区の施策への評価と要望

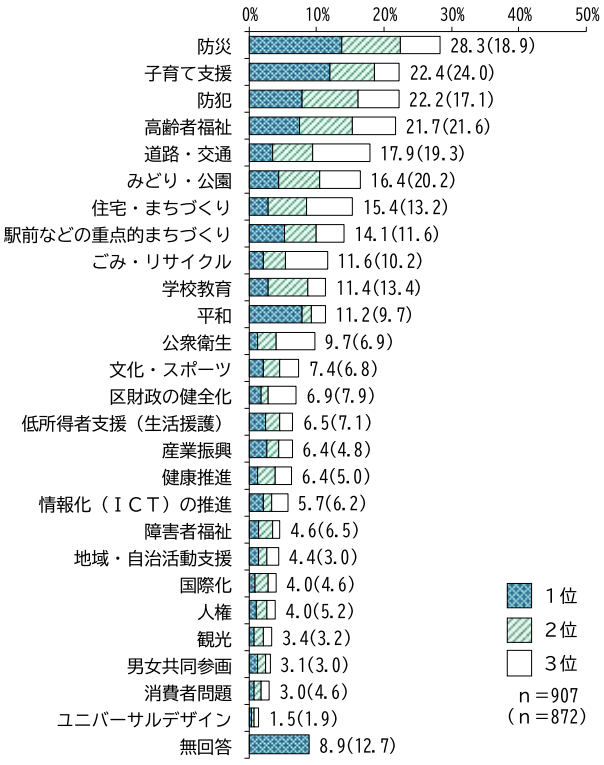
区が特に力を入れていると評価できる施策（３つまで回答）を聞いたところ、「駅前などの重点的まちづくり」(34.4%) が３割半ばで最も高く、次いで「文化・スポーツ」(18.4%)、「みどり・公園」(17.4%) となっている。

今後特に力を入れてほしい施策について第１位から第３位までの順位を聞いたところ、合計では「防災」(28.3%) が２割後半で最も高く、次いで「子育て支援」(22.4%)、「防犯」(22.2%)、「高齢者福祉」(21.7%) となっている。

【区の施策への評価】（複数回答）

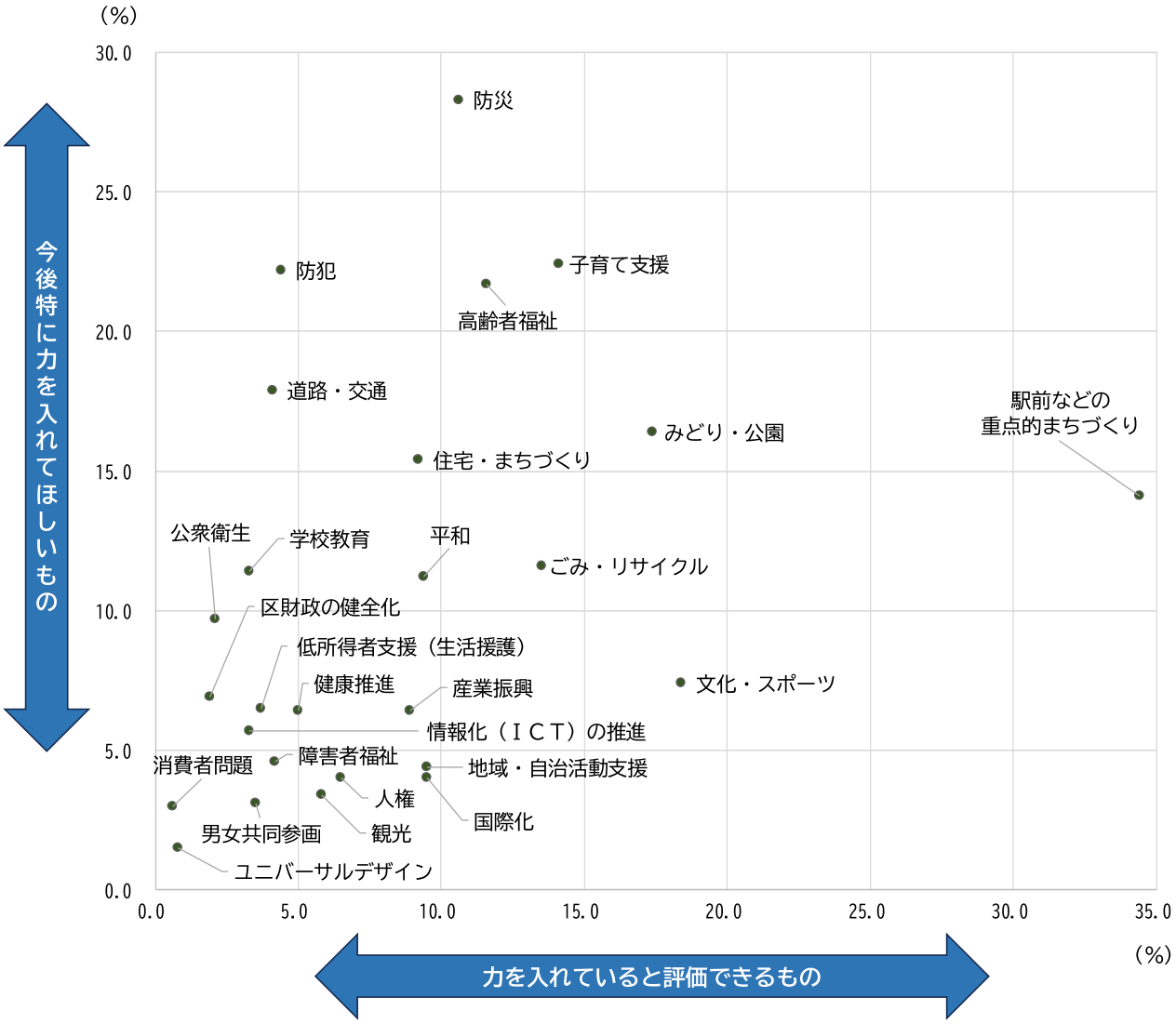


【区の施策への要望】（第１位～３位と合計）



（２）区の施策への評価と要望 散布図

区の施策への評価と要望の関係をみるために、「力を入れていると評価できるもの」を横軸に、「今後特に力を入れてほしいもの」を縦軸にとり、26 項目とその位置をあらわしたのが下の図である。この図では、左下に位置するほど「評価」も「要望」も低い施策であることを、反対に図の右上に位置するほど「評価」も「要望」も高い施策であることを意味している。さらに、左上に位置するほど、「評価」は低いが「要望」が高い施策であることを、反対に右下に位置するほど「評価」は高いが「要望」が低いことを意味している。



（３）区の施策への要望（順位の変化）

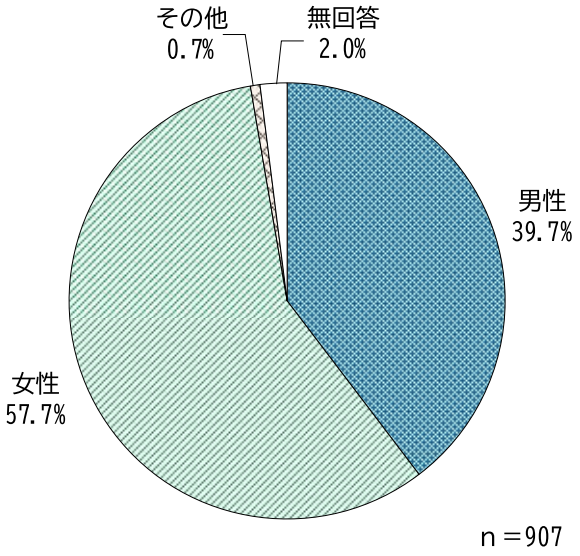
過去９年間および今回の施策要望の上位 10 位までの推移をみると、2021 年以来３年ぶりに「防災」が第 1 位となっている。また、2023 年からは「防犯」、「住宅・まちづくり」、「駅前などの重点的まちづくり」、「ごみ・リサイクル」の順位が上がっている。

＊上段は施策、下段は回答割合（%）
＊ 同率（%）の場合は、同順位である。

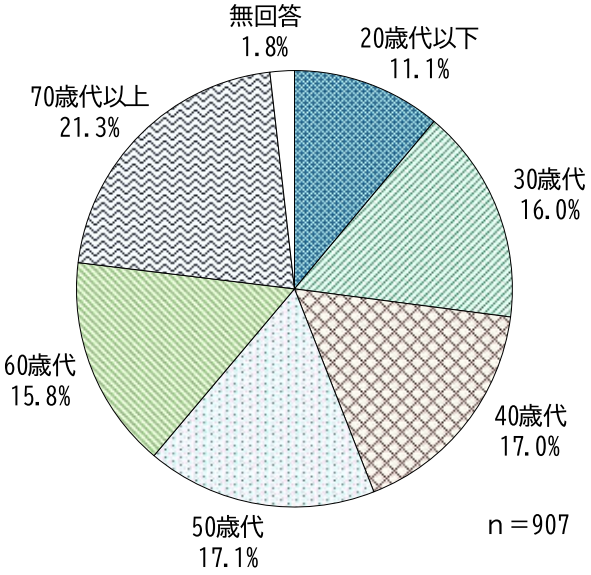
	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位	第６位	第７位	第８位	第９位	第１０位
2015	高齢者福祉	防災	防犯	子育て支援	みどり・公園	道路・交通	駅前などの重点的まちづくり	学校教育	区財政の健全化	住宅・まちづくり
(n=1,277)	27.0	25.7	22.2	21.0	17.8	15.6	13.2	12.5	11.1	10.4
2016	防災	防犯	高齢者福祉	子育て支援	住宅・まちづくり	みどり・公園	道路・交通	駅前などの重点的まちづくり	区財政の健全化	学校教育
(n=1,228)	27.8	22.5	22.4	21.2	17.0	15.9	14.3	13.3	11.1	11.0
2017	防災	高齢者福祉	子育て支援	みどり・公園	防犯	道路・交通	住宅・まちづくり	学校教育	駅前などの重点的まちづくり	ごみ・リサイクル/区財政の健全化
(n=1,167)	24.7	23.1	21.2	18.6	17.5	17.3	16.4	13.1	12.3	9.8
2018	防災	高齢者福祉	子育て支援	道路・交通	防犯	みどり・公園	住宅・まちづくり	駅前などの重点的まちづくり	区財政の健全化	学校教育
(n=1,145)	28.1	26.6	21.1	18.2	17.9	15.1	14.7	14.0	11.8	10.1
2019	防災	子育て支援	高齢者福祉	道路・交通	防犯	みどり・公園	住宅・まちづくり	駅前などの重点的まちづくり	学校教育	区財政の健全化
(n=1,060)	23.4	20.9	20.8	18.5	17.7	16.7	13.1	10.8	10.7	10.0
2020	防災	高齢者福祉	みどり・公園	道路・交通	子育て支援	防犯	駅前などの重点的まちづくり	住宅・まちづくり	ごみ・リサイクル	学校教育
(n=1,148)	20.6	19.8	19.3	19.2	18.9	18.1	16.4	13.7	11.8	10.1
2021	防災	道路・交通	みどり・公園	防犯	高齢者福祉	子育て支援	住宅・まちづくり	駅前などの重点的まちづくり	区財政の健全化	公衆衛生
(n=1,084)	23.5	21.8	20.3	19.8	19.5	16.9	13.8	11.7	11.1	11.0
2022	高齢者福祉	防災	道路・交通	子育て支援	みどり・公園	防犯	住宅・まちづくり	学校教育	ごみ・リサイクル/駅前などの重点的まちづくり	
(n=1,016)	24.4	21.8	18.9	17.0	16.8	15.6	14.7	10.8	10.1	
2023	子育て支援	高齢者福祉	みどり・公園	道路・交通	防災	防犯	学校教育	住宅・まちづくり	駅前などの重点的まちづくり	ごみ・リサイクル
(n=872)	24.0	21.6	20.2	19.3	18.9	17.1	13.4	13.2	11.6	10.2
2024	防災	子育て支援	防犯	高齢者福祉	道路・交通	みどり・公園	住宅・まちづくり	駅前などの重点的まちづくり	ごみ・リサイクル	学校教育
(n=907)	28.3	22.4	22.2	21.7	17.9	16.4	15.4	14.1	11.6	11.4

回答者属性

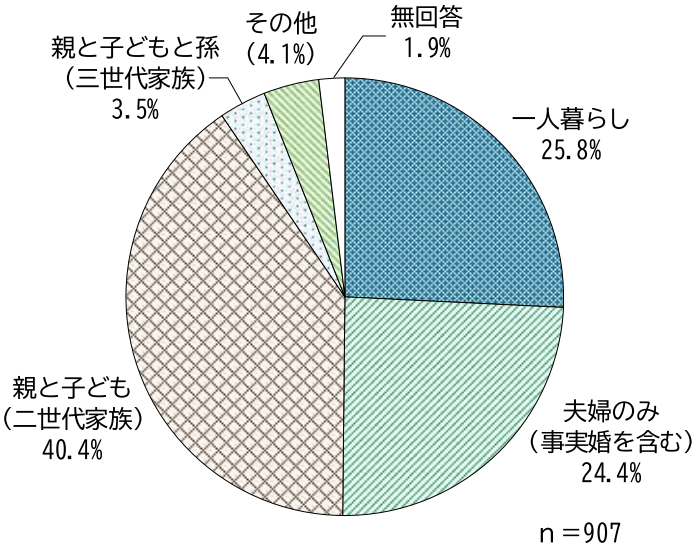
性別



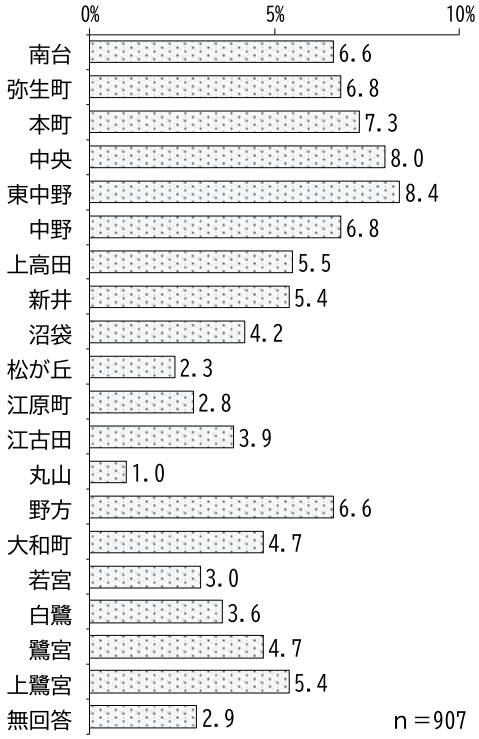
年代



同居家族構成



居住地域



２０２４　中野区区民意識・実態調査報告書
令和７年２月発行　文書番号 06 中総総第 1036 号
発　行：中野区総務部総務課統計係
東京都中野区中野４－11－19
電話　０３-３２２８-８８９２（直通）

報告書全文は区ホームページに掲載しております。
以下の二次元コードまたはＵＲＬからご覧になれます。

https://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/kusei/toukei-cyousa/ishikicyosa/2024cyousa.html